いま、物流が熱い。

情熱物流

JONETSU BUTSURYU

株式会社ロジコム
2024年度(令和6年)
環境経営レポート

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

■ロジコムキャラクター：随所で補足説明に現れます

りふ丸

性格：神経質・心配性

ハート・エイド・マイコムミモザ

性格：突っ走る・陽気・自己中心的

シド

性格：調整役・協調性

LOGICOM

CONTENTS

1.トップメッセージ …1

2.会社概要 …2
- 関連会社
- 事業所名
- 実施体制

3.方針 …7
- L70計画　基本方針
- 環境経営方針
- 事業活動

4.環境負荷の実績 …9
- 環境負荷の実績と評価

5.環境経営目標 …12
- 環境負荷/中長期環境経営目標

6.環境経営計画 …13
- 項目・取組事項

7.取組 …14
- 持続可能な開発目標とEA21取組との関係性
- 自立型ゼロエネルギー倉庫モデル促進事業
- 二酸化炭素
- 熱中症予防
- 廃棄物
- 非常事態訓練/コミュニケーション
- 社会貢献
- 地域貢献
- 再利用/文化振興
- 働き方改革
- 環境関連法規

8.代表者マネジメントレビュー …25

報告対象期間

2024年4月1日～2025年3月31日

発行日

2025年7月1日
EA21環境事務局

HPリンク

https://www.net-logicom.co.jp/

私たちは、地域と地球の環境に配慮した事業者です

®環境省

エコアクション21

認証番号0003413

1. トップメッセージ

当社は社是社訓である「信頼と貢献」の構築のために、全てのお客様に対してその責任と義務を果たすべく、ロジコムグループとして、積極的に安全、品質、環境、社会等のあらゆる活動に取組んでおります。

近年の事業規模拡大に伴い、当社の化石燃料使用による二酸化炭素排出量は増加傾向でありますが、事業活動における環境負荷の低減は我々の使命であると自覚し、積極的な使用効率の改善を行っております。地球環境・社会・経済への課題解決策として、2015年9月に国連総会で採択された持続可能な開発目標（SDGs）の実現に貢献できるように努力致します。

2020年に政府が発表されたカーボンニュートラルにおいては、中長期計画として排出原単位の削減目標を掲げ達成できるように取り組みます。主に従来からの省エネ活動や、LPGから電気への燃料転換を図るとともに太陽光発電設備を積極的に導入し自社発電と自社消費を行いCO2削減を目指します。

2025年7月1日
ロジコムグループ　代表　大上 正人

2. 会社概要

社名　株式会社ロジコム
代表者名　大上 正人
設立　2022年4月1日
資本金　1億円
売上高　335億円（2025年3月期）
従業員　826名（社員）
倉庫延床面積　282,772㎡

主な事業内容
・自動車部品会社及び関係会社の製品保管その他一切の業務
・倉庫業
・貨物利用運送事業　等

行橋営業所

【関連会社】

社名　株式会社ロジコムホールディングス
代表者名　大上 正人
設立　1959年6月1日
資本金　2億4,540万円
売上高　31億円（2025年3月期）
従業員　62名（社員）
事業所延床面積　529.52㎡

主な事業内容
・ロジコムグループの経営管理
・ロジコムグループの経営企画
・不動産の賃貸
・システム開発
・発電・売電に関する事業
・前各号に関するコンサルティング業務

会社概要

【関連会社】

社名	株式会社ロジコム・アイ
代表者名	小林　雄
創業	1969年12月
資本金	4,800万円
売上高	49億円（2025年3月期）
従業員	468名（社員）

主な事業内容
・貨物自動車運送事業
・引越業務
・自動車/フォークリフトの整備、修理
・貨物利用運送事業　等

社名	株式会社ニチブツ
代表者名	大上 正人
創業	1988年8月
資本金	4,000万円
売上高	1.8億円（2025年3月期）
従業員	5名（社員）

主な事業内容
・東京海上日動火災保険代理店
・東京海上日動あんしん生命保険代理店
・不動産賃貸業
・物品販売　等

事業所名

本社1/営業所16/工場1/物流センター11

★…株式会社ロジコム・アイ　◆…株式会社ニチブツ

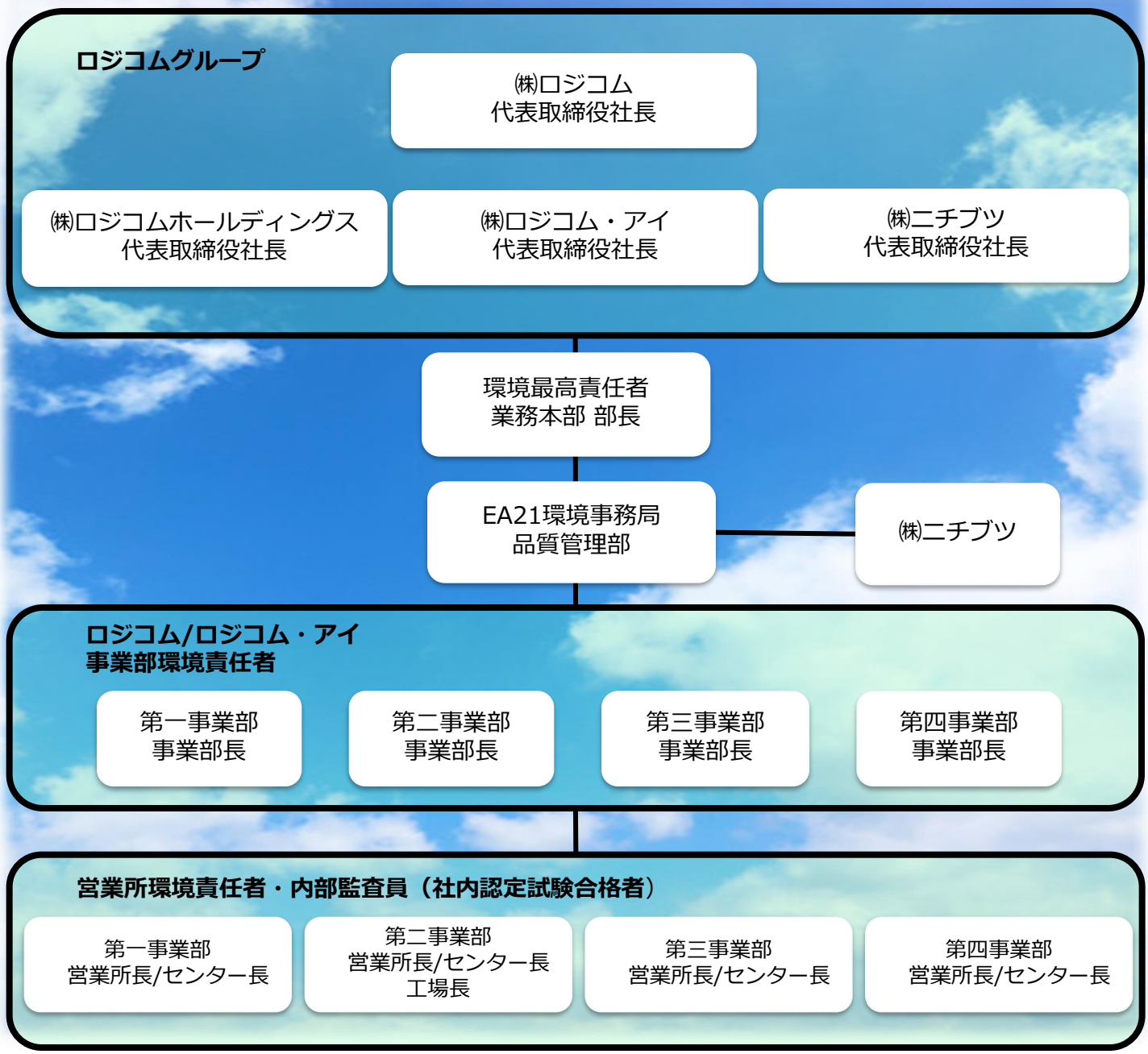
事業所名		所在地
本社	★◆	〒732-0044　広島県広島市東区矢賀新町5-7-4
福島営業所	★	〒960-0251　福島県福島市大笹生兎橋1-1
北関東営業所	★	〒326-0836　栃木県足利市南大町字宮西281-1
藤沢営業所	★	〒252-0811　神奈川県藤沢市桐原町15-2
海老名物流センター		〒243-0422　神奈川海老名市中新田5-18-1
浜松営業所	★	〒430-0822　静岡県浜松市中央区東町736-1
名古屋営業所	★	〒470-1207　愛知県豊田市鴛鴨町郷上200
豊田東物流センター		〒470-1207　愛知県豊田市鴛鴨町治林131（名古屋東部陸運株式会社構内）
鈴鹿営業所		〒513-0825　三重県鈴鹿市住吉町字上野田5783-1
滋賀営業所	★	〒520-2552　滋賀県蒲生郡竜王町大字小口字広谷1284-13
竜王物流センター		〒520-2552　滋賀県蒲生郡竜王町大字小口1303
阪神物流センター		〒664-0842　兵庫県伊丹市森本7-108-1（名古屋東部陸運株式会社構内）
岡山営業所	★	〒713-8103　岡山県倉敷市玉島乙島字新湊8263-18
広島営業所	★	〒731-4311　広島県安芸郡坂町北新地1-1-34
海田物流センター		〒736-0034　広島県安芸郡海田町月見町4-11
広島シーサイド物流センター		〒731-4321　広島県安芸郡坂町植田1-1-16
広島西物流センター		〒733-0036　広島県広島市西区観音新町4-6-16(三井不動産ﾛｼﾞｽﾃｨｸｽﾊﾟｰｸ広島１内)
東広島営業所	★	〒739-0153　広島県東広島市吉川工業団地11-2
熊野物流センター		〒731-4213　広島県安芸郡熊野町98-18（くまの産業団地内 ）
山口営業所	★	〒747-0833　山口県防府市浜方89-1
防府三田尻物流センター		〒747-0825　山口県防府市大字新田築地2039-3
海田工場		〒736-0034　広島県安芸郡海田町月見町9-8
北九州営業所	★	〒800-0314　福岡県京都郡苅田町幸町7-135
苅田物流センター		〒800-0321　福岡県京都郡苅田町新浜町1-6（鶴丸海運株式会社構内）
熊本物流センター		〒869-1236　熊本県菊池郡大津町大字杉水2889-2
行橋営業所		〒824-0068　福岡県行橋市延永1011-1
福岡営業所	★	〒822-0151　福岡県宮若市水原210
鞍手営業所		〒807-1307　福岡県鞍手郡鞍手町大字室木765-15
中津営業所	★	〒879-0124　大分県中津市田尻崎20-3

実施体制

（1）認証登録の対象範囲

・自動車部品関連物流サービス、自動車部品製造業、自動車部品関連運輸サービス
太陽光発電売電業、不動産賃貸業、 損害保険業
・株式会社ロジコムは、株式会社ロジコムホールディングス、株式会社ロジコム・アイ、
株式会社ニチブツをグループとした認証登録

（2）①実施体制



実施体制

②環境経営システム責任と権限一覧表

担当者	役割・責任・権限
代表者	・環境経営に関する統括責任
	・環境経営システムの実施及び管理に必要な、人、設備、費用、時間、技能者を用意
	・環境管理責任者を任命
	・環境経営方針の策定、見直し及び全従業員への周知
	・環境経営目標の承認
	・代表者による全体評価と見直しを実施
	・環境経営レポートの承認
環境最高責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理
	・法規制等要求事項登録簿を承認
	・環境関連の外部コミュニケーションの窓口(外部機関)
	・環境活動の取組結果を代表者へ報告
	・環境経営レポートの作成指示
	・内部監査員の選任及び内部監査実施の指示
EA21環境事務局	・EA21推進の事務局
	・環境関連法規等チェックリストの作成
	・環境経営レポートの作成
	・環境経営レポートの公開(地域事務局への送付)
	・特定された項目の手順書・基準書の作成
	・特定された緊急事態への対応のための基準書・手順書の作成
事業部環境責任者	・環境最高責任者の補佐
	・品質環境改善計画書の承認
	・統括営業所の環境に関する統括責任者
	・統括営業所の環境に関連する全ての項目の計画と実績に確認・フォローをする
営業所環境責任者	・自営業所における環境経営システムの実施
	・環境への負荷の自己チェックリスト及び環境への取組の自己チェックの実施(自営業所分)
	・自営業所における環境経営方針の周知
	・自営業所の従業員(社員・パート・人材)に対する教育訓練の実施
	・自営業所に関連する環境経営目標及び環境活動計画の作成と実施及び達成状況の報告
	・手順書の運用
	・特定された緊急事態への対応のためのテスト・訓練記録
	・環境関連の外部コミュニケーションの窓口(顧客・地域)
	・自営業所の問題点の発見、是正、予防処置
内部監査員	・環境管理最高責任者の指示により内部監査の実施
	・ガイドラインや管理規定、基準書に適合し継続的な改善活動になっているかの監査
	・内部監査の実施結果を環境最高責任者、経営者へ報告
全従業員	・環境経営方針の理解と環境への取組の重要性を自覚
	・決められたことを守り、自主的、積極的に環境活動へ参加

3. 方針

【Ｌ70計画　基本方針】創立70周年（2029年度）を目標にした中期計画

(1)国際社会から信頼される企業を目指す
(2)常に新しいことに挑戦する
(3)個性を伸ばし、能力を高める
(4)夢を語り、夢の実現を

【環境経営方針】

ロジコムグループは、物流及び製造、保険代理店業務を通じて社会に貢献する為に、ＥＡ21の環境経営マネジメントシステムを継続的に改善し、環境負荷低減による環境保全推進、及びGHG(温室効果ガス)排出量を削減する。

（1）環境関連の法令、規則、社会的規範を遵守する。
（2）事業活動の全段階を通じて、環境に与える影響の中で以下の項目について環境保全活動を推進する必要性を認識して、全社的活動として行動する。
　①　電気エネルギーの使用効率を向上させ化石エネルギーの抑制を図る
　②　廃棄物の排出効率及び水の使用効率の向上を図る
　③　環境に配慮した設備、備品の販売及び使用をする
　④　有害な化学物質の把握による適正な管理をする
　⑤　太陽光発電等による電気需要の最適化を図る
（3）全従業員に対し、環境に関する教育と訓練による意識向上活動を実施する。
（4）地域や環境団体の環境活動に積極的な取組みをする。
（5）この方針を公開し、社内外のコミュニケーションに努め、又事業環境の変化等により定期的及び必要に応じて随時見直しをする。

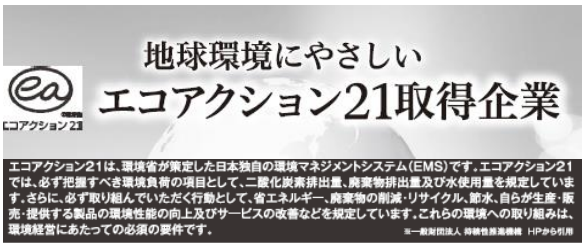
株式会社ロジコムホールディングス	代表取締役社長　大上　正人
株式会社ロジコム	代表取締役社長　大上　正人
株式会社ロジコム・アイ	代表取締役社長　小林　　雄
株式会社ニチブツ	代表取締役社長　大上　正人

制定日　2008年4月1日
改訂日　2022年4月1日
改訂日　2022年7月1日
改訂日　2024年4月1日

社長の環境に対する強いメッセージが伝わるなぁ～

だから従業員全員の省エネ意識が強いんだろうなぁ～

【事業活動】

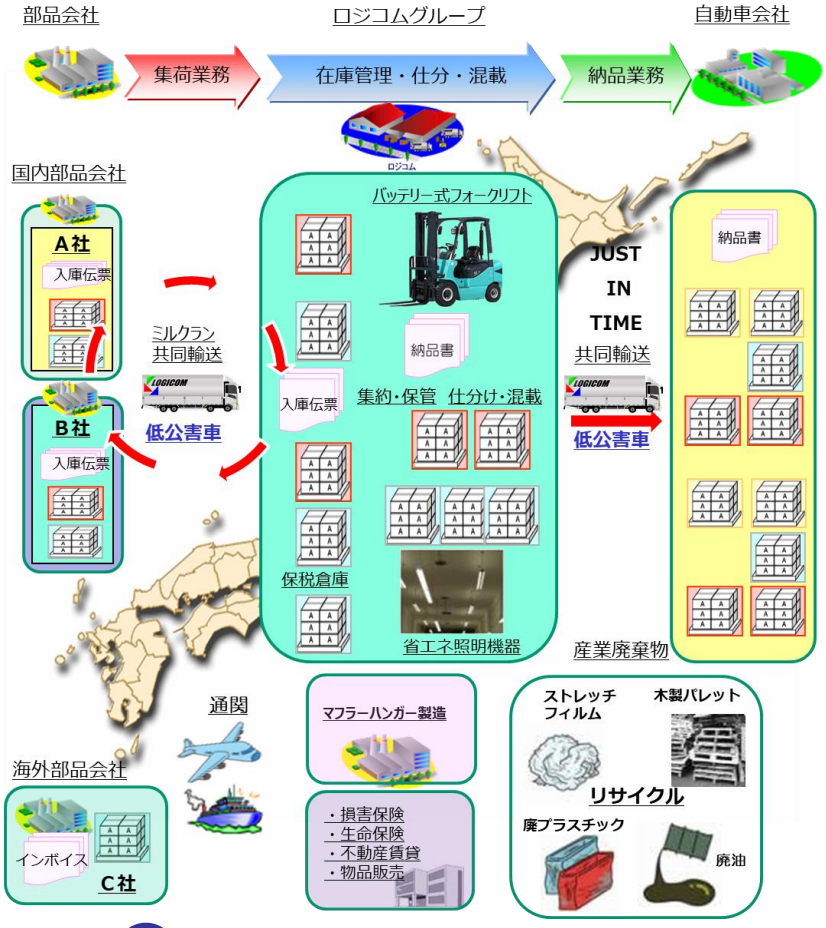


物流の合理化

(1)共同物流(集荷/輸送/納品)の実施
自動車部品の共同輸送、トラックの積載効率向上による物流の合理化
道路及び工場内の車両削減を実現

(2)物流デポへの集約
物流の拠点（デポ）に集約することで、荷役作業の効率化等によるJITの実現へ貢献

(3)通関から最終地までの一貫物流
海外での会社設立及び輸出入品の通関手続きから最終納入先迄一貫した物流業務を実現



4. 環境負荷の実績

【環境負荷の実績と評価】

＊環境経営目標(P12)及び環境経営計画(P13)参照

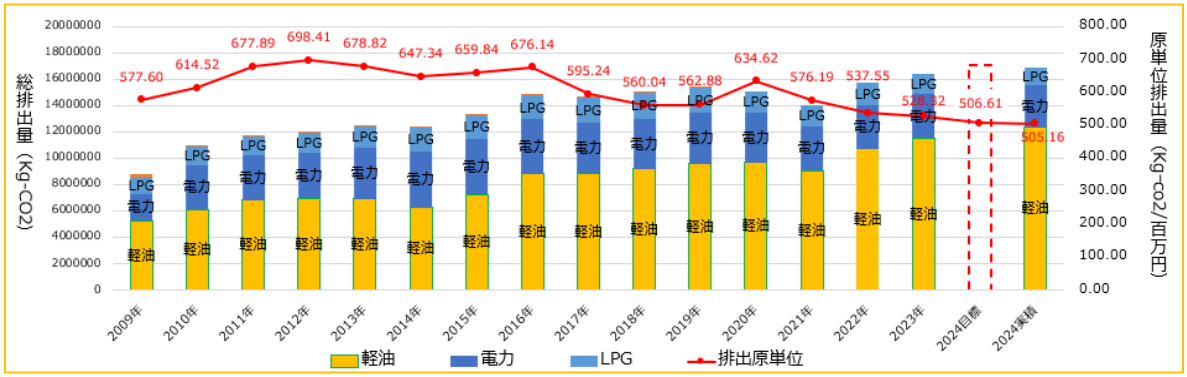
（1）2024年度　目標達成状況

環境経営目標項目		2023年度 基準年	2024年度 目標値	2024年度 実績値	評価
原単位 当たりの 削減	二酸化炭素排出量の削減 （kg-CO_2/売上百万）	511.89	506.61	505.16	○
	産業廃棄物排出量の削減 （ｔ/売上百万）	0.1087	0.1076	0.0826	○
	水使用量の削減 （㎥/売上百万）	0.4294	0.4252	0.4243	○
総排出量	二酸化炭素（kg-CO_2）	16,441,999	17,037,832	16,864,237	－
	産業廃棄物（t）	3,490	3,618	2,757	－
水使用量	水道（㎥）	13,791	14,301	14,165	－
化石燃料の 使用量	LPG（kg）	504,272	514,357	435,738	－
	軽油（ℓ）	4,461,557	4,550,788	4,717,610	－
購入電力	電力（kWh）	6,663,433	7,329,776	6,421,062	－
化学物質の 適性管理	有害物質量の把握と管理	対象品の 把握と 適性管理	対象品の 把握と 適性管理	対象品の 把握と 適性管理	－
事業規模	売上高（百万円）	32,120	33,631	33,384	－
	トラック走行距離（km）	16,150,994	16,797,034	17,168,977	－
電力 売電実績	九州電力・東京電力 （kwh）	149,859	－	159,990	

（2）排出原単位（売上）当たりの実績

【二酸化炭素】

・二酸化炭素排出原単位は0.3%減にて目標達成。LPG、電力、軽油の使用量から算出しており、LPGはバッテリー式リフトへの変更にて使用量減。電力は各所のこまめな消灯と太陽光発電（広島・海田）にて購入電力抑制。軽油はトラック輸配送業務拡大により今後も使用量が増加するも原単位では下げる方向で取り組む。

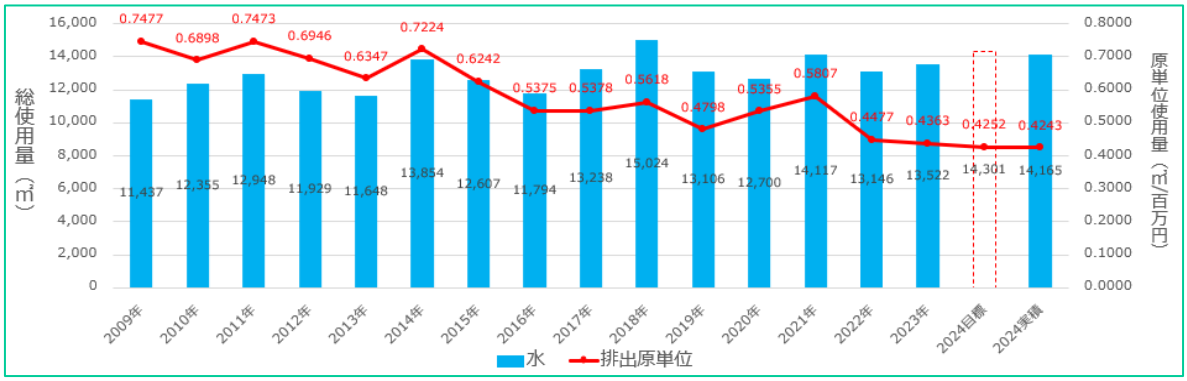


【産業廃棄物】

・産廃原単位では23.2%減にて目標達成。特に海外製品荷量の増減はダンボール素材や木製パレットの処分量に直結し、リサイクルとして積極的に取り組んでいる結果となっている。今後も体積の増減は続くと思われるが、各所による廃棄物の圧縮や分別等の取り組みは継続しており一定の効果を得られていると考える。

【水】

・水使用量の原単位では0.2%減にて目標達成。人員は増えている状況であり当然一人当たりの使用量も増えるため、さらに積極的に節水活動すべきであるが体調に関わる資源なので無理はさせない。初年度よりは確実に原単位は下がっており、過去３年の実績傾向としては今後一定の水準で横ばいとなる見通しである。



（3）営業所の環境経営目標と実績及び評価

営業所	二酸化炭素排出量 kg-CO_2/売上百万円			産業廃棄物 t /売上百万円			水使用量 ㎥/売上百万円		
	目標	実績	評価○× 達成率%	目標	実績	評価○× 達成率%	目標	実績	評価○× 達成率%
全社	506.61	505.16	○ -0.3%	0.1076	0.0826	○ -23.2%	0.4252	0.4243	○ -0.2%
福島	1,169.33	1,259.22	× 7.7%	0.0144	0.0000	○ -100.0%	0.5343	0.4762	○ -10.9%
北関東	482.19	491.03	× 1.8%	0.0772	0.1100	× 42.5%	0.0010	0.0000	○ -100.0%
藤沢	516.70	585.46	× 13.3%	0.3181	0.3026	○ -4.9%	0.6372	0.8158	× 28.0%
浜松	271.56	286.81	× 5.6%	0.0277	0.0625	× 125.6%	0.3085	0.2909	○ -5.7%
名古屋	406.90	488.59	× 20.1%	0.0827	0.0742	○ -10.3%	0.3443	0.3537	× 2.7%
鈴鹿	315.37	299.78	○ -4.9%	0.7561	0.6682	○ -11.6%	0.4690	0.4474	○ -4.6%
滋賀	774.20	877.68	× 13.4%	0.0228	0.0344	× 50.9%	0.6186	0.4036	○ -34.8%
岡山	268.02	281.61	× 5.1%	0.1462	0.0608	○ -58.4%	0.2689	0.2684	○ -0.2%
東広島	1,236.63	1,286.43	× 4.0%	0.0010	0.0000	○ -100.0%	1.8062	1.5483	○ -14.3%
広島	541.37	491.35	○ -9.2%	0.0270	0.0212	○ -21.5%	0.3495	0.3349	○ -4.2%
工場	384.95	319.05	○ -17.1%	0.0034	0.0021	○ -38.2%	0.9161	0.9243	× 0.9%
山口	864.45	727.62	○ -15.8%	0.2484	0.1138	○ -54.2%	0.5049	0.4289	○ -15.1%
北九州	661.82	535.95	○ -19.0%	0.2690	0.2097	○ -22.0%	0.4186	0.5416	× 29.4%
中津	276.09	287.66	× 4.2%	0.0194	0.0098	○ -49.5%	0.3262	0.3223	○ -1.2%
福岡	685.36	756.74	× 10.4%	0.0560	0.0513	○ -8.4%	0.5274	0.5784	× 9.7%
鞍手	148.70	222.51	× 49.6%	0.0061	0.0000	○ -100.0%	0.2868	0.3443	× 20.0%
行橋	105.82	98.16	○ -7.2%	0.0403	0.0023	○ -94.3%	0.2358	0.2094	○ -11.2%
本社	56.42	50.93	○ -9.7%	0.0010	0.0000	○ -100.0%	0.5981	0.5896	○ -1.4%

5. 環境経営目標

●2024~2026年の目標値を2023年度を基準値とし、年度毎の売上予測を基に３年分設定

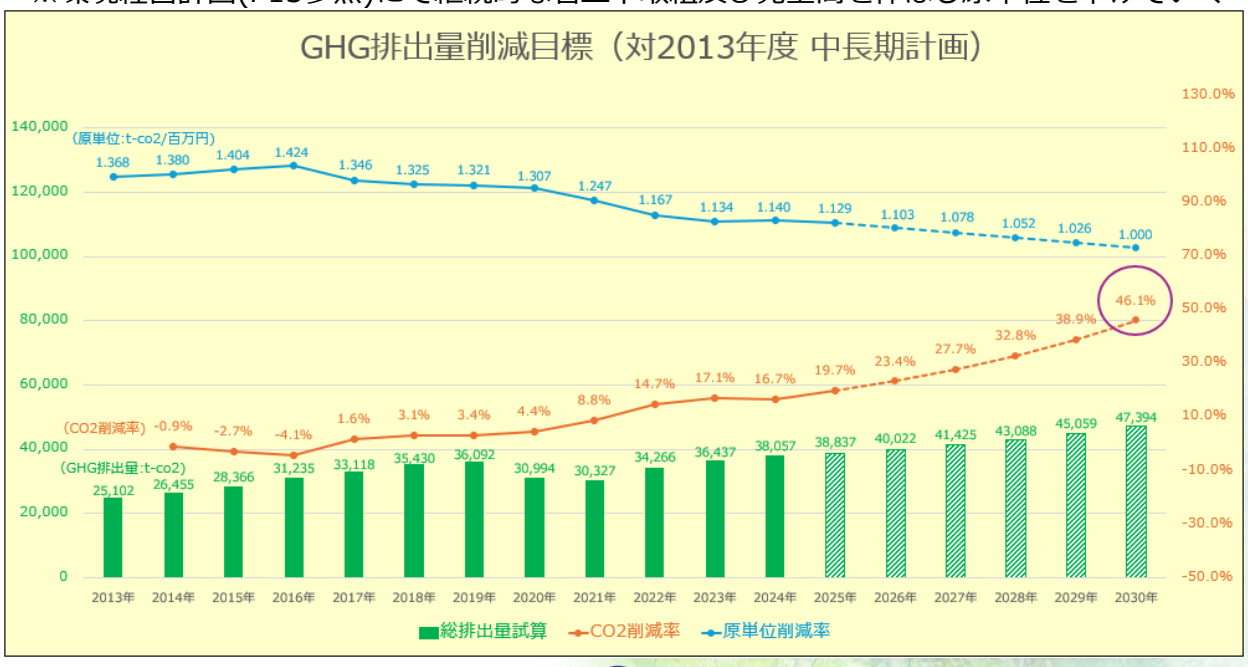
※環境経営目標（原単位）は売上高（百万円）に対する３つ負荷の排出量/使用量を対象
・環境負荷対象：二酸化炭素排出量・産業廃棄物排出量・水使用量
・各営業所毎に目標設定を行い、全社として毎年1%減を設定する

※目標設定においての基準
・使用量の定義：計算式＝発熱量×排出係数×44/12
LPG：発熱量50.1×排出係数0.0163×44/12･･･2.994310kg-CO2 / ℓ
軽油：発熱量38.0×排出係数0.0188×44/12･･･2.619467kg-CO2 / ℓ
・二酸化炭素換算係数は環境省令和5年度「電気事業者別電気係数一覧の残差」を適用

電力係数-ＣＯ2/kWh
中国電力：0.552kg
関西電力：0.434kg
中部電力：0.459kg
東京電力：0.390kg
東北電力：0.471kg
九州電力：0.475kg

排出	単位	年度	区分	全社		
CO2 >電力 >LPG >軽油	kg-ＣO2/売上	23	基準値	511.89		
		24	目標値	506.61	基準比	-1.0%
		25		501.47	前年比	-1.0%
		26		496.33	前年比	-1.0%
廃棄物	t /売上	23	基準値	0.1087		
		24	目標値	0.1076	基準比	-1.0%
		25		0.1065	前年比	-1.0%
		26		0.1054	前年比	-1.0%
水	㎥/売上	23	基準値	0.4294		
		24	目標値	0.4252	基準比	-1.0%
		25		0.4211	前年比	-1.0%
		26		0.4170	前年比	-1.0%

●カーボンニュートラル中長期計画：2030年の目標値を46.1%に設定（2013年を基準値）
※環境経営計画(P13参照)にて継続的な省エネ取組及び売上高を伸ばし原単位を下げていく



6. 環境経営計画

★新たな計画の追加

項目		取り組み事項	責任者
二酸化炭素排出量の削減	電力使用量	不要照明の消灯 ・不在場所の消灯/昼間の事務所及び倉庫の消灯 エアコンの温度設定の徹底 ・設定温度（冷房時25℃、暖房時24℃）/フィルターの掃除 照明設備の代替、新設時に省エネ製品を導入 ・LED照明または無電極ランプ化 デマンド監視装置によるピーク電力の監視（DR日数） ・フォークリフトの充電時間帯の分散 電気使用機器に変更 ・LPG車からバッテリー車に代替え ・EVトラックの導入	部門長 営業所長 工場長 センター長
	化石燃料の使用量 ・LPG ・ガソリン ・軽油	燃費の改善 ・エコドライブ運転・アイドリング抑制 ・デジタコによる運行管理（スピード、アイドリング等） 走行距離の短縮 ・セミトレ、フルトレの導入（車両台数の削減） ・レイアウト変更や運行ルート変更（配達製品の集約）	営業所長 工場長 センター長
	自然エネルギーの活用	・太陽光発電設備の導入 ・倉庫の天井及び側面からの自然光を採光（光拡散天窓） ・倉庫新設時、太陽光発電を含む循環型（orクリーン）エネルギーへの一部切替えを推進する	営業所長 工場長 センター長
廃棄物排出量の削減	廃棄物排出量	・取引先名でのマニフェスト発行の推進（取引先資産の廃棄） ・一般廃棄物のダンボールはリサイクルとして排出 ・産業廃棄物は分別してリサイクル（資源循環） ★木製パレットの費用削減（業者への持込・無償回収化）	営業所長 工場長 センター長
水使用量の削減	水使用量	水の流しっぱなしの禁止 ・節水啓発の掲示 ・節水コマの設置	営業所長 工場長 センター長
化学物質の適性管理	有害物質の適性管理	化学物質購入時又お客様の要求により使用する時はSDSによりPRTR法に該当するか確認をして適性に管理	営業所長 工場長 センター長
環境配慮製品・設備の購入、販売	環境対応製品及び設備の購入	省エネトラックの導入 アドブルーを使用して排出ガス濃度を低減	営業所長 工場長 センター長
	環境対応製品の販売	自動車保険エコマーク認定の金融商品の販売 太陽光発電の売電	㈱ニチブツ 営業所長 センター長
	★熱中症対策（追加計画）	建物：ダブルパック・天井ファン・遮熱シート/塗料・冷風機 人体：新ユニフォーム・無人売店・自動製氷機	営業所長 工場長 センター長
社会貢献活動	取り組み	自動販売機の売上を広島県ジュニアゴルフ振興会に寄付 地域社会への貢献活動「Green Gift」プロジェクト 清掃活動による地域貢献	営業所長 工場長 センター長 ㈱ニチブツ
環境教育	教育/訓練	新規採用時の環境教育（３R） 緊急事態訓練の実施（火災/地震避難訓練/油漏れ対応訓練）	営業所長 工場長 センター長

7. 取組

持続可能な開発目標とEA21取組との関係性

SDGs	EA21取組
2 飢餓をゼロに	特別栽培米による化学肥料及び農薬散布の軽減等により、 経費の削減・地力の回復等を図り、持続可能な農業の促進
3 すべての人に健康と福祉を	騒音・振動の防止/化学物質の適正管理・喫煙所の整備
	広島県ジュニアゴルフ振興会への寄付
4 質の高い教育をみんなに	環境教育/訓練・就業規則（規定）の見直し
	ハラスメント教育、ビジネスマナー研修
5 ジェンダー平等を実現しよう	働き方改革
	女性の能力強化促進（ドライバー・フォークリフト・管理職）
6 安全な水とトイレを世界中に	水使用量の削減/節水コマの設置/排水の適正処理
7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに	エネルギーの効率的な使用/化石燃料使用量の削減
	省エネ設備の見える化/敷地内の緑地化/太陽光パネル/LED照明/採光屋根
8 働きがいも経済成長も	働き方改革/障害者雇用/奨学金返還支援/自動化設備の導入
	企業ブランドのイメージアップ/地方の文化振興(傘鶴)
9 産業と技術革新の基盤をつくろう	技術開発、新物流システムの構築
11 住み続けられるまちづくりを	３Ｒの推進/廃棄物の適正管理/建物設備の適切な維持管理
	社会貢献活動/クリーン活動（地元の清掃活動）
12 つくる責任 つかう責任	グリーン購入/紙・資材の省資源化/省エネ設備の導入
13 気候変動に具体的な対策を	フロン漏洩防止/温室効果ガスの削減
	トラックの大型化/バッテリーリフト化

【自立型ゼロエネルギー倉庫モデル促進事業】

目的・・・地球温暖化に対する脱炭素社会の実現と人手不足の解消

事業・・・太陽光発電設備を導入しAGFやAGVで省人化を図るという「社会変革と物流脱炭素化を同時実現する先進技術導入」

行橋営業所

カーポート型太陽光発電設備

再生エネルギー

再生エネルギーを活用し、無人搬送ロボットを動かす

AGV(通称ルンバ)

物流会社としては初めての補助金対象として認められたんだゾ！！

行橋営業所は自動化のモデル営業所なんだゾ！

AGF(自動運転リフト)

AGV(通称タグノバ)

【二酸化炭素】

太陽光発電で二酸化炭素の排出量を削減

海田工場

広島営業所

自然エネルギーは再生可能な資源だから活用すれば環境にも良さそうだなぁ～

・車両の大型化（トレーラ）
・軽油使用量の削減・積載効率向上による減車
・安全性優良事業所及びグリーン経営の継続

北九州営業所

全社的にバッテリー式フォークリフトを積極的に導入しています

EV １ｔトラックを導入しました

山口営業所

CO2の排出が少なく音も静かなのだ！これからはＥＶの時代なのであります！

「CoCoLo（こころ）の会」に藤沢営業所が入会しています

Certificate of
CoCoLo Project

私たちは
CoCoLoプロジェクトを通して
SDGs（持続可能な開発目標）に賛同しています

株式会社ロジコムホールディングス

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

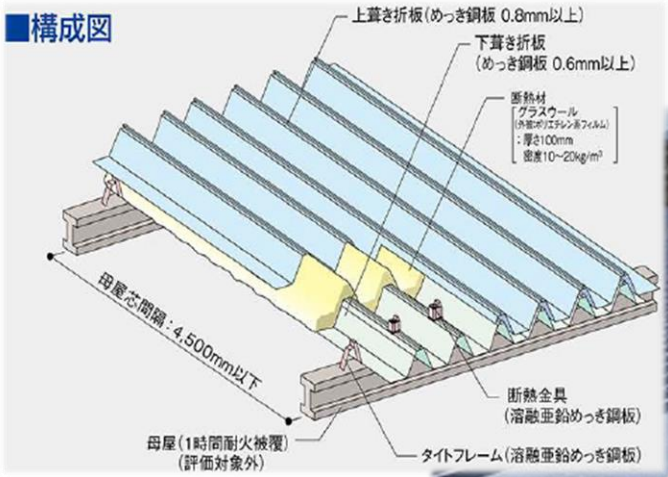
ＮＰＯ法人が実施する「ＳＤＧｓ達成に貢献する事業」趣旨に賛同し、CO2削減量の認証及び社会貢献に協力しています。

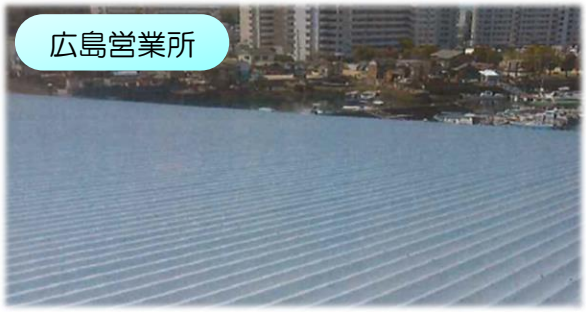
太陽光発電を使用することで温室効果ガス排出量を削減し、国内における地球温暖化対策の活動に参画することで、子育て支援や植林事業等の地域活動に活用されます。

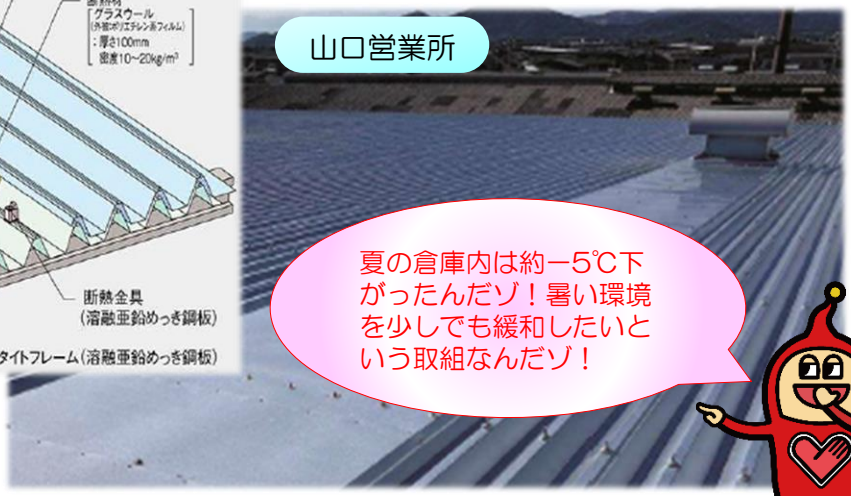
【熱中症予防の取組(気候変動)】

ダブルパック

折版タイプの屋根材を二重葺にし、その間に断熱材（グラスウール）をサンドイッチにした工法です。







夏の倉庫内は約−5℃下がったんだゾ！暑い環境を少しでも緩和したいという取組なんだゾ！

夏季限定の自動販売機を設置して所員に安く提供(毎年商品のバリエーションを変えて継続中です)

夏季対策として空調ベストを取り入れています。既製品ではなくオーダーユニフォームとなっており、デザイン性や、機能性、通気性などにこだわりを持っています。

安全ベストを、従来の幅が大きいタイプから細いタイプに変更しました。
暑さ対策や安全面において機能性に優れています。

【廃棄物】

（1）リサイクル
- ストレッチフィルムを圧縮機で圧縮梱包してリサイクル業者に売却
- 鉄やステンレスのスクラップ
- 梱包使用済み段ボールを古紙としてリサイクル業者に売却/委託
- 木製パレットはウッドチップになる

（2）リユース
- 再度利用できる梱包用のPP結束バンドは分別保管して再度使用している

社員は皆３Rを知ってるんだよぉ～

無駄のない世界を目指したいんだなぁ～

【緊急事態訓練/内部コミュニケーション】

☆品質/安全/環境に関する教育・訓練

消火訓練

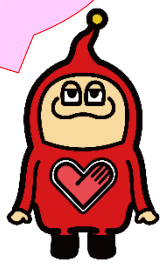
油漏れ対応訓練

☆防災/安全の点検（防災機器/設備・ハザードマップ 等）

2024年 9 月度　防災・安全点検チェックシート

点検日		2024年	9月	18日（ 水 ）	㈱ロジコム	鈴鹿	営業所
			点検場所は建屋毎に実施すること	点検場所	点検結果(不具合の内容)		
項目	No.	点検項目	点検内容		現場（レイアウト図）	事務所	
	1	消火設備の点検	消火栓・消火器の定期点検は実施され有効期限が経過していないか		OK	OK	
			消火栓・消火器の表示はどこからでもよく見えるようになっているか		OK	OK	
			消火栓や消火器の前に物を置いていないか		OK	OK	
	2	安全通路、出口の点検	非常口の常夜灯は壊れていないか		OK	OK	
			非常口の前に物を置いていないか		OK	OK	
			避難通路や階段に物を置いていないか		OK	OK	
			階段の照明は破損していないか		OK	OK	
			倉庫の出入り口での一旦停止線、安全確認を実				

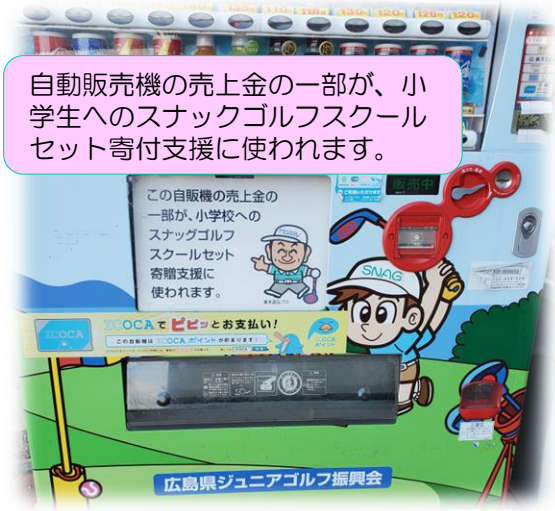
訓練はいざという時に備えて焦った行動にならないための重要な取り組みなんだゾ！



【社会貢献】

広島東洋カープ、福岡ソフトバンクホークスとスポンサー契約を交わしています。（マツダスタジアムの外野席には看板があります）

自動販売機の売上金の一部が、小学生へのスナックゴルフスクールセット寄付支援に使われます。



「安全ポスター」を、ロジコムグループ従業員及びご家族様へ募集をかけ、「成人の部」「ジュニア部」で表彰されました。目的は、安全に対し、より一層向上させるため啓蒙活動の一環で、事故低減を目指します。（2024年度「成人は労災撲滅」「ジュニアは交通安全」）

島根県邑南町（中山間地域）はSDGｓの取組をされています。弊社は水田オーナー制度に参加することで安定した農家収入を保証し、持続可能な高品質で環境にも優しい農業経営への参画活動となっています。

未来に先手を　社会に打ち手を

みずほ銀行様にSDGs取組宣言しお取引させていただいています。（2030年までのSDGs取組目標：No.4，No7.2，No8.5）

個人や企業が社会をより良くすることを目的とした活動なのであります！

積極的に社会貢献を目指していくのであります！

広島では坂町の北新地グランドをロジコムグラウンドとして命名権を取得しています。
イベント等、施設の維持運用に貢献と宣伝効果が期待されます。毎年ロジコムグループ杯学童軟式野球大会が開催されています。

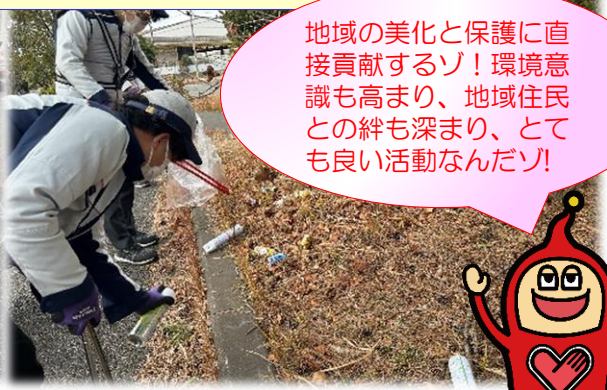
【社会貢献（地域貢献）】

☆営業所近隣地域の清掃活動

山口営業所：防府市新田築地周辺地域の清掃活動を実施しています。

広島営業所：安芸郡坂町北新地東部流通団地内の清掃活動を実施しています。

岡山営業所：玉島ハーバーアイランドを中心に清掃活動を実施しています。



8 働きがいも経済成長も
11 住み続けられるまちづくりを
12 つくる責任つかう責任

LOGICOM

【折り鶴の再利用・地方の文化振興)】

傘鶴(さんかく)プロジェクト

世界中の人々が広島に折り鶴を送り、平和を祈っています。折り鶴に込められた平和への願いを形を変えて、世界に伝えたい。そんな想いから、傘鶴(さんかく)プロジェクトはスタートしました。

私たちのプロジェクトに賛同いただいた広島市から折り鶴をご提供いただきました。

2025年3月1日
在広島モンゴル名誉領事　任命式
傘鶴 展示

2024年12月26日
日本原水爆被害者団体協議会
傘鶴 寄贈

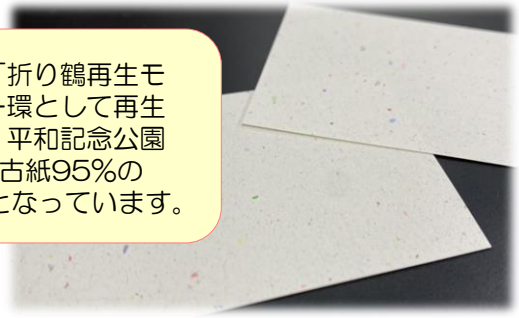
傘鶴の生地は和紙に平和記念公園に寄せられた折り鶴が使われているんだよぉ～

１本の完成までに約４ヵ月と聞いてビックリしたんだよぉ～

2023年5月
G7サミットの配偶者プログラムで傘鶴が使用され、公式にて披露されました。

【折り鶴再生モデル事業→名刺へと生まれ変わる】

広島市公認の「折り鶴再生モデル事業」の一環として再生された名刺で、平和記念公園の折り鶴5%と古紙95%の100%再生紙となっています。



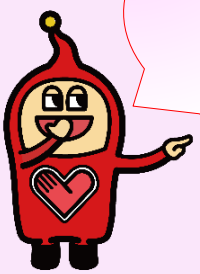
【働き方改革・人材育成】

☆年間を通じて様々な研修があり、新入社員、３年目、昇格者、役職者と職位職務に応じた研修内容を充実させて人材育成に取り組んでいます。

新入社員研修では倉庫作業も体験します。

部門の代表による講和

外部講師によるマナー講和



社会人としての礼儀や言葉使いを実践交えながら教えてもらったゾ！

こういったマナーを習得することが大事なんだゾ！

海外留学生のインターンシップを通じて、異文化の中で業務体験を学び、将来のキャリアに役立つ経験を提供するといった活動を行っています。

次世代育成を兼ねた研修として、課長職以上の管理職を対象に社長が講師となる「社長塾」を開催。

【働き方改革実践企業】
【地域未来牽引企業】
【奨学金返済支援企業】
以上の取組も行っているのであります！

働き方改革

地域未来牽引企業

奨学金返済サポート

【環境関連法規の遵守（主な法令コンプライアンス）】

(1)2024年度における環境関連法規等の遵守状況

2024年度は自主点検の結果、環境関連法規の違反、逸脱はありません。

(2)訴訟等の有無

環境関連機関などからの法規制違反の指摘、環境問題に関わる苦情、事故及び訴訟等の請求はエコアクション21認証後から1件も発生しておりません。

(3)環境法令教育

法規制追加時の共有を実施し確実に法規遵守を徹底する活動を行っています。

2024年度追記　・化学物質管理者選任の義務化　・労働安全衛生規則第151条の3
・太陽電池発電設備の保安規制　・プラスチックの資源循環促進

(4)当社に適用される主な環境関連法規制の遵守結果

適用法	要求事項	評価
省エネ法	・使用状況届出書等の提出と中期事業計画書の報告 ・エネルギー管理統括者の配置 ・エネルギー管理企画推進者の配置	○
廃棄物処理法	・廃棄物の適正処理 ・処理委託業者との契約締結	○
水質汚濁防止法	・事故等の届出	○
浄化槽法	・設置の届出 ・浄化槽の適正な維持管理（点検、検査等の実施）	○
自動車ＮOx・PM法	・規制区域内への乗り入れ証 ・適合車種の導入	○
消防法	・少量危険物貯蔵所の届出と危険物取扱管理者の配置 ・防火管理者の届出 ・消防設備の点検と結果報告	○
騒音規制法	・特定施設の届出	○
公害防止組織法	・公害防止管理者の配置	○
フロン排出抑制法	・第一種特定製品の定期点検	○
電気事業法	・自家用工作物として電気設備の技術基準への適合、関連手続き	○
プラスチック、資源循環促進法	・排出の抑制、教育周知	○

(5)省エネ取組の優良事業者クラス分けSABC評価制度（省エネ法定期報告）

2023年度実績の結果はSクラスで８年連続Sクラスを継続評価いただいています。

(6)地球温暖化対策推進法（脱炭素社会の実現に向けた具体的な行動 ）

①カーボンニュートラル宣言・・・・P1 トップメッセージ・P12 中長期計画
②企業の排出量情報のオープン・・・P9,10,11 環境負荷の目標と実績
③地域の再エネ活用事業計画･認定制度・・P15 自立型ゼロエネ倉庫モデル促進事業

8. マネジメントレビュー

項目	環境マネジメントレビュー議事録
日時	2025　5/15（木）　10:00～11:00
出席者	大上社長、中元専務、真木常務、関森取締役 小林社長（アイ）、三浦部長、馬上課長、沖EX
環境経営方針 □指示あり　■指示なし	2024年4月１日改訂より変更はありませんが、P1のトップメッセージにてカーボンニュートラル宣言が追記されました（中長期計画）
環境経営目標/計画 ■指示あり　□指示なし	目標に対する実績：原単位実績 P9～12より ・二酸化炭素排出量：広島、工場の太陽光発電により購入電力が減り原単位減。 ・産業廃棄物排出量：ダンボールや木製パレ類の廃棄量の増減要因あるも達成。 ・水道使用量：人員増により使用量は増えているが原単位目標は達成。
	計画に対する実績：環境経営計画 P13より ・活動を継続し全員が一丸となって環境負荷目標達成に向けて努力する。 ・バッテリー式リフトの導入（2024年度、LPGから切替27台、増車3台） ・行橋営業所・海老名物流センターがEA21認証登録されました。
環境実施体制 ■指示あり　□指示なし	実施体制：P5～6より ・実施体制の担当者について、役割/責任/権限を明確にしました。
環境に配慮した製品・サービスの販売	・太陽光発電の賃借と売電・自立型ゼロエネルギー倉庫モデル促進事業 ・トラック：トレーラー導入による積載量確保と減車・EVトラック導入
内部監査・外部監査からの見直し	・地球温暖化対策推進法の３つのポイントについての具体的行動（P24） ・環境と経済を融合した戦略として自立型ゼロエネ倉庫モデルを公開（P15）
環境関連法規	・環境に関する基本法令と各地域の法令に違反はなく適正に対応する。 ・省エネ法：Sクラス認定（経済産業省 資源エネルギー庁ホームページに掲載）
環境教育	・新入社員への環境教育や環境経営レポートの展開による省エネ意識付けを行う。
緊急事態訓練	・緊急時の対応訓練を年一回実施することにより、緊急事態に対する意識付けと行動を明確にする。
環境 コミュニケーション	・外部からの苦情はなく、又内部からは環境に関する改善提案を推進する。 ・環境に関する情報はホームページにて公表する。
社会貢献	・プロ野球２チームのスポンサー契約・水田のオーナー制度への参加。 ・折り鶴再生（名刺の再生事業・和傘の生産とアピール） ・ロジコムグランド命名権による地域活性化貢献及び清掃活動による地域貢献等。
代表者による総評	・カーメーカーの生産台数変動の影響により、各拠点では目標達成と未達成のバラつきがあるものの、全社的には排出原単位での減少傾向がみられるなど、これまでの取組の成果が出ている。 ・カーボンニュートラル中長期計画：2030年の目標(2013年対比で46.1%のCO_2排出削減)達成に向けて、継続的な取組が必要となる。 ・様々な社会貢献活動を通じて、環境系の項目だけでなく、他のSDGs項目に対しても活動を行う事ができた。
代表者による指示 （次回の効果成果）	・バッテリー式フォークリフトの導入やソーラーパネルの設置等、環境負荷軽減に向けた取り組みを継続すること。 ・倉庫内作業や事務の自動化・省人化について積極的に導入を推進すると共に、導入効果を把握・検証すること。 ・熱中症防止策についてさらなる提案を募り、従業員の健康維持、職場環境の整備に努めること。